

平成 28 年度 愛知県水産試験場 業務報告 目次

平成 28 年度 水産試験場組織・機構図	1	
I 試験研究業務		
1 海面増養殖技術試験（栽培漁業グループ）		
（1）海産生物増養殖試験		
海産動物増養殖試験（トリガイ漁場形成機構調査）	2	
海産動物増養殖試験（放流ミルクイ生残調査）	3	
海産植物増養殖試験（ノリ優良品種開発試験）	4	
海産植物増養殖試験（ワカメ種糸生産試験）	6	
（2）海産生物病害対策試験		
海産魚介類病害発生試験（病害発生状況調査）	8	
ノリ病障害対策試験	10	
（3）海産種苗放流技術開発試験		
トラフグ放流効果調査	12	
放流適地の解明（ヨシエビ）	14	
（4）アラメ藻場再生緊急技術開発試験		15
（5）有用貝類資源形成機構調査		
資源形成機構実証試験	16	
（6）海藻増養殖環境変動対策試験		18
2 内水面増養殖技術試験		
（1）うなぎ養殖技術試験（内水面養殖グループ）		
養殖環境調査	20	
優良放流ウナギ養成試験	21	
（2）うなぎ人工種苗量産化技術開発試験（内水面養殖グループ）		
ウナギ仔魚量産化試験	22	
（3）内水面増養殖指導調査（内水面養殖・冷水魚養殖・観賞魚養殖グループ）		
河川漁場調査（豊川中下流域漁場のアユ資源調査）	23	
河川漁場調査（豊川中流域におけるアユ漁場モニタリング）	25	
養殖技術指導	27	
海部地区養殖河川水質調査	29	
矢作川ウナギ生息状況調査	31	
（4）アユ資源有効活用試験（内水面養殖・冷水魚養殖グループ）		
アユ種苗放流方法等の検討（豊川系 F8 アユ人工種苗の冷水病感受性）	32	
天然遡上アユ実態調査	33	
（5）冷水魚増養殖技術試験（冷水魚養殖グループ）		
マス類増養殖技術試験（ニジアマ養魚池の飼育環境調査）	35	
マス類増養殖技術試験（ニジアマの成長優良群選抜飼育による生産性向上）	37	
マス類増養殖技術試験（アマゴ性転換雄 3 歳魚利用の検討）	38	

(6) 観賞魚養殖技術試験 (観賞魚養殖グループ)	
疾病対策試験(キンギョヘルペスウイルス病の不活化ワクチンの検討)……………	39
新品種作出試験 (アルピノチョウテンガンの形質改良) ……………	41
新品種作出試験 (変異育種技術を利用したキンギョ新品種の開発) ……………	42
(7) 希少水生生物増殖技術開発試験 (冷水魚養殖グループ)	
ネコギギ人工繁殖試験 ……………	44
ギギ精子凍結保存試験 ……………	45
(8) 魚類養殖技術開発試験 (内水面養殖グループ・観賞魚養殖グループ)	
ウナギ遡上行動試験 ……………	47
疾病対策技術開発試験 (キンギョの受精卵期における水カビ病予防技術の開発) ……………	48
3 水産資源調査試験	
(1) 漁業調査試験 (海洋資源グループ)	
漁況海況調査……………	50
漁場調査……………	52
内湾再生産機構基礎調査 ……………	53
有用貝類試験びき調査……………	55
(2) 漁業専管水域内資源調査 (海洋資源・栽培漁業グループ)	
浮魚資源調査 (イワシ類) ……………	57
浮魚資源調査 (イカナゴ) ……………	60
底魚資源調査……………	62
(3) 漁業調査船「海幸丸」運航 (海洋資源グループ) ……………	64
4 漁場環境調査試験	
(1) 人工生態系機能高度化技術開発試験 (漁場改善グループ)	
干潟・藻場の造成条件解明試験……………	65
(2) 河口域資源向上技術開発試験 (漁場改善グループ)	
アサリ稚貝発生量調査……………	67
(3) 水産生物被害防止基礎試験 (漁場保全グループ)	
有毒プランクトン増殖機構解明試験……………	69
貧酸素水塊状況調査……………	70
(4) 海域情報施設維持管理 (漁場保全グループ)	
海況自動観測調査……………	71
(5) 六条潟アサリ稚貝大量発生機構解明試験 (漁場改善グループ) ……………	73
(6) 沿岸域生物被害予察手法開発試験 (漁場改善グループ)	
湾奥の干潟・藻場における貧酸素・硫化水素被害回避策の検討・評価……………	75
貧酸素・硫化水素に対する底生魚介類資源の応答解明……………	77
(7) 内湾環境調査技術開発試験 (漁場改善グループ)	
航路・泊地における溶存硫化物発生抑制に関する技術開発……………	79
II 漁業者等研修及び相談 (企画普及グループ・海洋資源グループ)	
1 漁業者等研修……………	81
2 漁業者等相談……………	82

III 水産業振興事業

1 あさりとさかな漁場総合整備事業

(1) 干潟・浅場造成事業（漁場改善グループ）

干潟・浅場造成事業効果調査…………… 83

(2) 渥美外海漁場整備事業（海洋資源グループ）

魚礁効果調査…………… 84

2 栽培漁業推進調査指導（栽培漁業グループ）…………… 85

3 資源管理漁業推進事業

(1) 資源調査（海洋資源グループ・栽培漁業グループ）

イカナゴ年齢調査…………… 86

アサリ資源調査…………… 87

トリガイ資源調査…………… 89

(2) 漁獲実態調査（海洋資源グループ）

渥美外海漁場調査…………… 91

イカナゴ捕食実態調査…………… 93

(3) 漁具改良調査（海洋資源グループ）…………… 95

4 水産業技術改良普及

(1) 水産業技術改良普及（企画普及グループ）

沿岸漁業新規就業者育成・担い手活動支援事業…………… 98

(2) 魚類防疫対策推進指導（内水面養殖・冷水魚養殖・観賞魚養殖グループ）…………… 100

5 漁場環境対策事業

(1) 漁場環境実態調査（漁場保全グループ）…………… 102

(2) 貝毒監視対策（漁場保全グループ）…………… 104

(3) 有害プランクトン動向調査（漁場保全グループ）…………… 107

(4) 二枚貝類有害生物対策監視調査（栽培漁業グループ・漁場改善グループ）…………… 108

IV 環境部環境対策（漁場保全グループ）

1 公害苦情処理…………… 109

2 水質汚濁調査

(1) 水質監視調査…………… 110

(2) 漁業取締・水質調査兼用船「へいわ」運航…………… 111

(3) 伊勢湾広域総合水質調査…………… 112